

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担 当 課：道路整備課
担当課長名：杉本 秀明

事業名	主要地方道鳴門池田線 共進～新町		事業区分	主要地方道	事業主体	徳島県
起終点	自：徳島県阿波市阿波町西林 至：徳島県美馬市脇町大字脇町				延長	5.1km
事業概要	当事業は、徳島県北部の東西を結ぶ幹線道路であり、第2次緊急輸送道路にも指定されている主要地方道鳴門池田線における唯一の未改良区間の整備であり、地域間交流の活性化、緊急輸送道路ネットワークにおける多重性の確保、周辺地域の活性化や通勤通学の安全確保を図るために整備するものである。					
平成10年度事業化	—		平成10年度用地買収着手	平成10年度工事着手		
全体事業費	85億円		事業進捗率	83%	供用済延長	3.3km
計画交通量	12,700台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.4 (残事業) 2.0	総費用 (残事業)/(事業全体) 18.9/99.6億円 (事業費：18.4/97.8億円 維持管理費：0.5/1.8億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 37.0/136.8億円 (走行時間短縮便益：29.0/124.8億円 走行費用減少便益：6.6/11.5億円 交通事故減少便益：1.4/0.5億円)	基準年 平成24年度		
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=2.2（交通量 +10%） B/C=1.8（交通量 -10%） 事業費変動：B/C=1.8（事業費 +10%） B/C=2.2（事業費 -10%） 事業期間変動：B/C=1.9（事業期間+1年） B/C=2.1（事業期間-1年）					
事業の効果等	・道路ネットワーク効果：平常時の東西を結ぶ幹線ネットワーク、観光アクセスなどの地域間交流の活性化、効率化 ・防災、減災効果：第2次緊急輸送道路として、東西を結ぶ緊急輸送道路ネットワークの多重性（リダンダンシー）確保等 ・周辺地域の効果：商業施設等の出店による地域経済の活性化、通学路の安全安心の確保による交通事故件数の減少（現道の年間交通事故件数 H17：26件→H22：20件）					
関係する地方公共団体等の意見	・当該事業箇所の地元住民等から、幅員狭小、事故多発、慢性的な渋滞など、現道の不便さを感じている意見が多く、当事業を実施することにより、これらの解消に期待が寄せられている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・平成12年12月に、道の駅「藍ランドうだつ」開駅 ・平成17年3月に、市町村合併（脇町、美馬町、穴吹町、木屋平村）により美馬市が発足 ・平成21年5月に、西工区約3.3km供用。これにより沿線に商業施設等が60程度出店（H22センサス15,920台/日）					
事業の進捗状況、残事業の内容等	・平成23年度までに、全延長5.1kmのうち国道193号より西側の約3.3kmが供用済であり、用地進捗率98%、事業進捗率83%となっている。 ・残事業は、国道193号より東側の橋梁2橋を含むバイパス部約1.8km。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	・今後も引き続き用地取得及び工事促進に取り組み、平成29年度の供用を目指す。					
施設の構造や工法の変更等	・近隣新町谷川の堆積土砂の盛土材への有効利用等					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えている。					
事業概要図						

※総費用、総便益とその内訳は各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。